

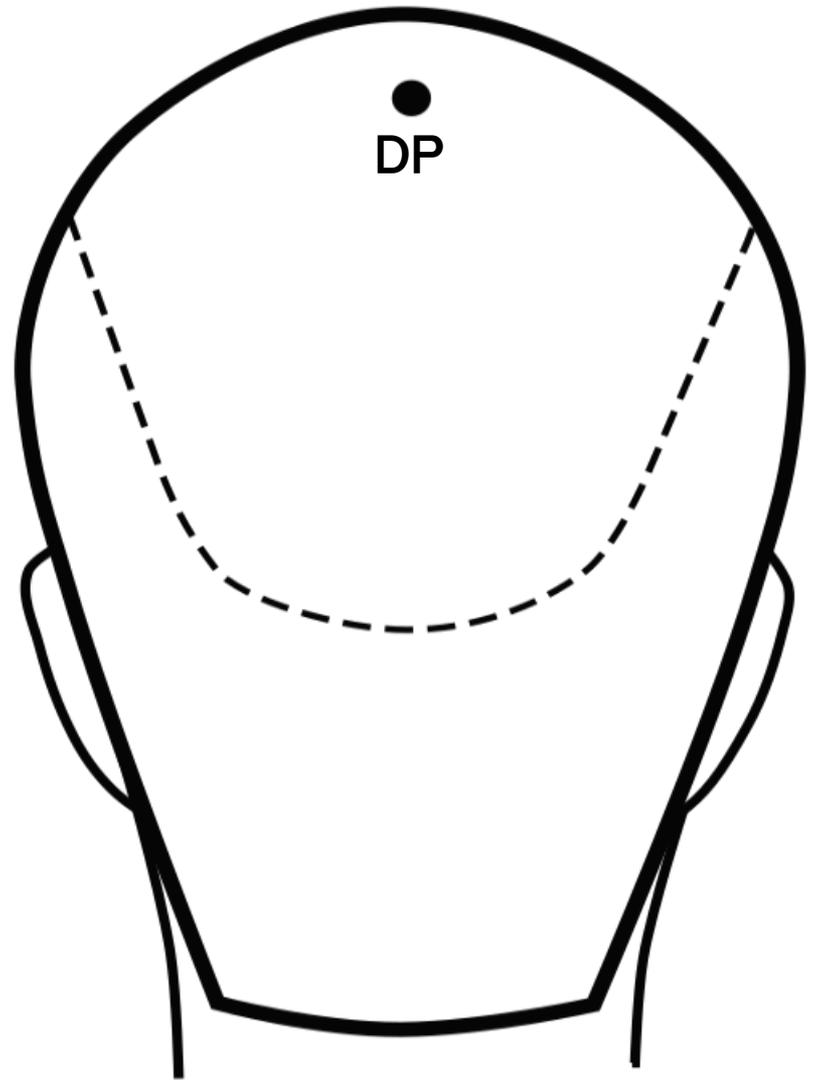
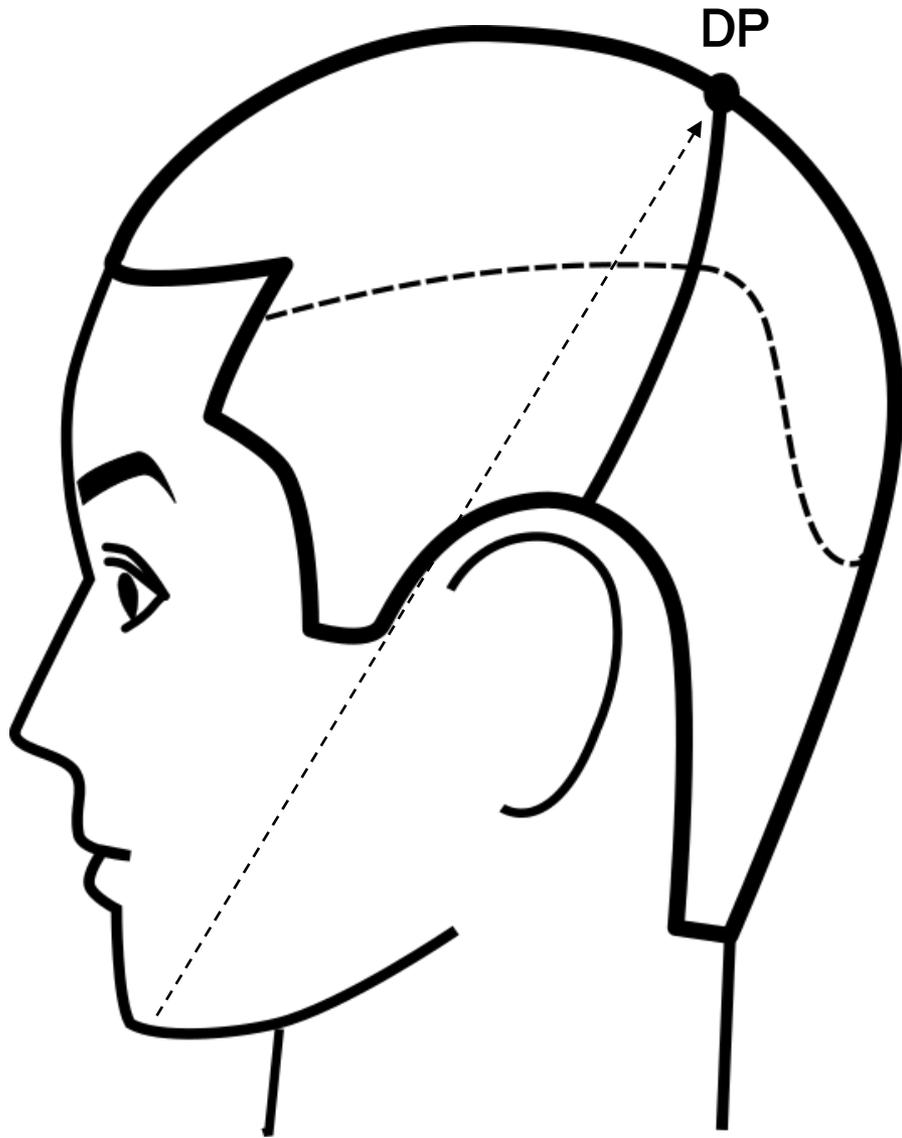
2020 Ibaraki New Hair

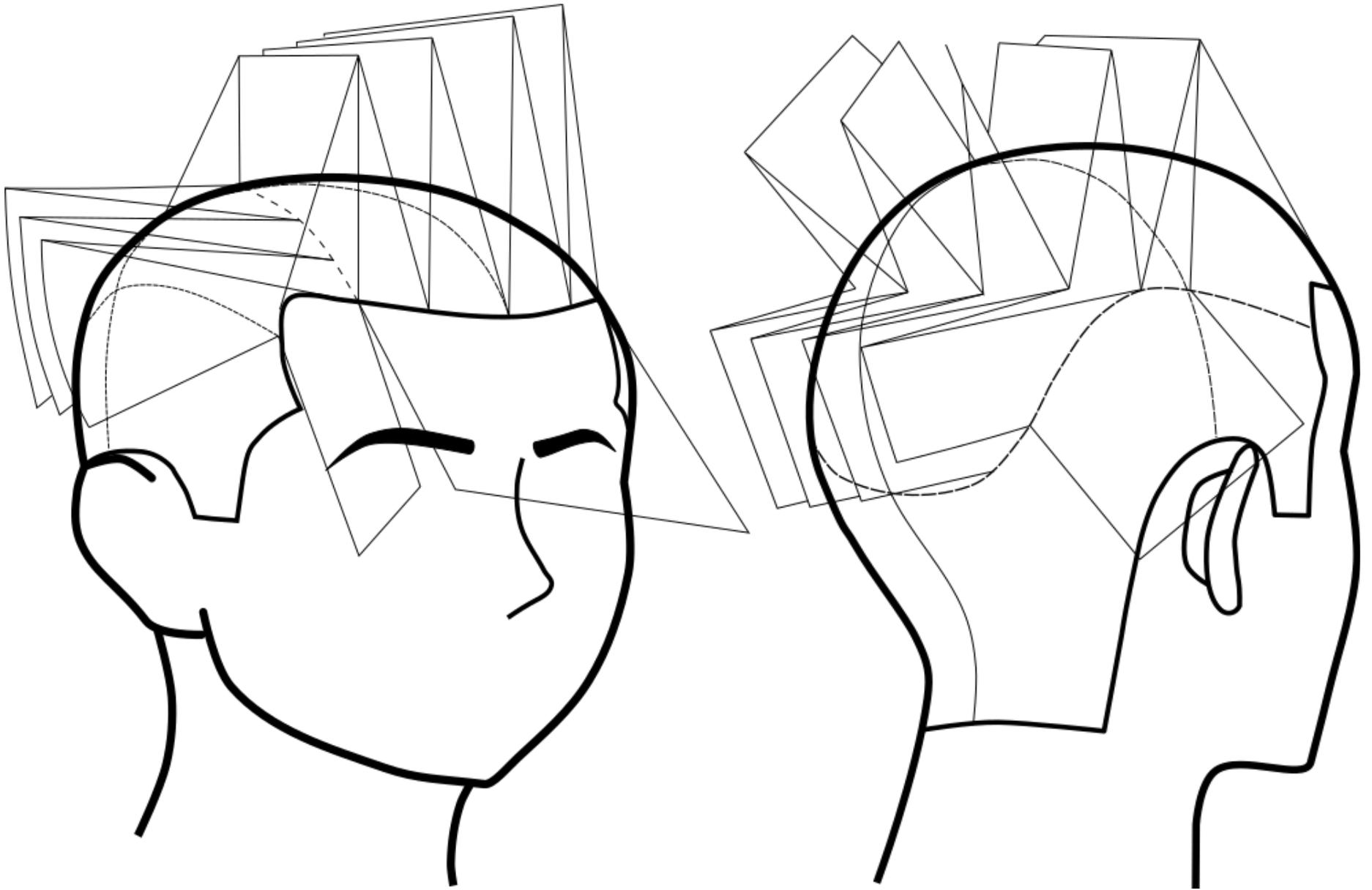
TRIGGER
テキスト

* 2セクションによる骨格補正でオンリーワンのフォルムを表現

* オーバーセクションにはアシンメトリックなカットを取り入れ
フォーマルな中にも自分らしさを演出









アンダーセクションからカットに入ります。



サイドから刈り下げ。ハイゾーンとディスコネになるよう
サイド上部は3cm程度に設定します。



切りあがりです。逆サイドも同様にカットしていきます。



図のように、サイドの奥行きをイメージし
骨格を補正していきます。



耳後部のカットはサイドのカット面の延長でカットします。
頭なりにコームを入れないよう注意します。



ネックラインのカット面をコンケーブ状にカットします。
これにより縦長の印象を与える事が可能になります



続けてバックセンター。耳後部の上部は4cm程度。
それをガイドとして刈り下げていきます。



ローゾーンの切りあがりです。





ハイゾーンベースカット。デザインポイントを約8cmに設定します。



バックハイセクションをややレイヤーにカットしていきます。



切りあがりが見てスクエアになるよう
センターガイドにオーバーダイレクトしてカットします。



横スライスでスクエアの状態を確認しトリミングを行います。



バックミドルゾーン。ハイゾーンをガイドに
ややグラデーションでカットしていきます。



バックミドルゾーン仕上がりはフォワードに振るので
バイアスにパネルを取ります。



ハイゾーン同様、上から見てスクエア状になるよう
オーバーダイレクトしてカットします。



トップベースカット。パートを8:2付近に設定しデザインポイントをガイドに
パートライン上をセームレイヤーでフロントまでカットしていきます。



ヘビーサイドを切り進めます。セムレイヤーでカットしたガイドに
オーバーダイレクトしてフロントまでカットします。



1パネル分オーバーダイレクトしてトップ全体をフロントまでカットします。



ライトサイドもパードガイドラインにオーバーダイレクトしてカットします。



ここまででトップ全体は左サイドが長いアシンメトリーになっています。
この状態からトップをデザインラインにオーバードイレクトして
スクエアにカットします。



これによりトップ全体はシンメトリー、フロント左サイド付近に長さが残ります。



サイドのカットです。仕上がりはやや前下がりのイメージなので、
バイアスにパネルを取ります。



バックで切り終えたパネルをガイドにオンベースで
ややグラデーションにカットします。



順次一つ前のパネルにオーバーダイレクトしてカットしていきます。



フロントのアウトラインをトリミング



サイドのアウトラインのトリミングをし、フロント左サイドとジョイントします。
長さを残したいポイントなので切り過ぎに注意します。
逆サイドも同様にアウトラインをトリミングします。



この様にハイゾーンはやや前下がりで
フロント左サイドに長さが残ります。



ベースカットの終了です。



セニングに入ります。重さを取っていくためにレイヤーセニングを入れますが、求めるフォームをイメージしタイトな部位は根元付近、ボリュームが必要な部位は浅めに入れていきます。



フロントは長めの設定なので重くなりがちです。
パネルに対してほぼ平行にハサミを入れ、根元付近から重さを取っていきます。



束感、動きを強調するためにスライドカットを入れていきます。
約2cm幅で横にパネルを取り、フリーハンドで中間部を削ります。



下から上に進めていきますが、下のパネルとは逆方向からスライドを入れていきます。



流れを意識し全体にスライドを入れてカット終了です。

















サイドやバックなど浮いてしまう場合は細いアイロンを使用して根元を殺し、フィットさせます



動きを出したい部分は
中間部分にカールをつけておきます





ボリュームの必要なところはドカンを作らず
立ち上げのみを意識して高さを出します。